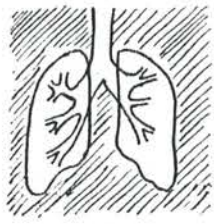


NHK

結核検診
部別成績表
39年9月1日現在

順位	部 落	受診率
1	石和	77.1
2	石和	61.0
3	石和	60.7
4	石和	60.5
5	石和	59.9
6	石和	59.0
7	石和	56.0
8	石和	55.3
9	石和	53.5
10	石和	53.0
11	石和	49.8
12	石和	49.5
13	石和	48.0
14	石和	47.7
15	石和	44.6
16	石和	44.0
17	石和	43.7
18	石和	43.6
19	石和	42.7
20	石和	42.0
21	石和	41.5
22	石和	40.0
23	石和	37.8
24	石和	37.0
25	石和	37.0
26	石和	38.6
27	石和	38.1
28	石和	31.0
29	石和	37.9
30	石和	37.9
31	石和	35.4
32	石和	34.6
33	石和	33.7
34	石和	33.2
35	石和	31.4
36	石和	30.8
37	石和	29.9
38	石和	29.6
39	石和	29.1
40	石和	29.0
41	石和	28.2
42	石和	27.9
43	石和	27.4
44	石和	27.0
45	石和	26.5
46	石和	26.3
47	石和	24.9
48	石和	23.0
49	石和	23.0
50	石和	22.0
51	石和	21.2
52	石和	20.1
53	石和	20.0
54	石和	18.7
55	石和	18.6
56	石和	18.5
57	石和	18.4
58	石和	16.7
59	石和	16.2
60	石和	15.8
61	石和	15.4
62	石和	14.3
63	石和	13.9
64	石和	12.5
65	石和	12.1
66	石和	11.6
67	石和	10.9
68	石和	10.9
69	石和	10.7
70	石和	10.5
71	石和	9.8
72	石和	9.0
73	石和	8.0
74	石和	7.3
75	石和	5.3
76	石和	5.3
77	石和	4.0
78	石和	3.4
79	石和	0.0
80	石和	0.0
81	石和	0.0
82	石和	0.0
83	石和	0.0
84	石和	0.0
85	石和	0.0



レントゲンで
結核

≡ 早期発見 ≡ 早期治療を ≡

よい部落は
百人中七十七人もうけており、
すに、悪い部落は百人中四人
しかうけておりません。

結核は
法により、毎年一回は必ずうけな
ければならないことになっています。
自分一人ぐらにかまわないであらうと
思って受けないと、まじめに受けた人に非常なめいわ
くをかける事になります。

大豊村には
今年新しく発見された患者だけ
でも二十三名もおります。

自分は大丈夫
と思っている結核は自覚症状
がないのでレントゲンをうけ
なければ感じただけでは分り
ません。

結核を
なくする決め手はレントゲン検査
りばかりではありません。

検診の費用は
我々の納めた税金の一部が
住民の健康福祉の事業として
はねかえってきているのです
から、うけなければ損です。

今年度まだ
一度も受けていない方のため
に、近日常に二回目の検診を行
いますので、通知がいきました
ら今度こそ必ず受けて下さい。



陳情四件が
常任委員会へ付託

九月定例村議会へ提出さ
れた陳情は次の通りです。
いずれも関係常任委員会
へ付託されました。

川戸部落

農道の開設
について

川戸の農道は、現在約八
割の工事を完了しています
が、起点十五メートルと終
点八十メートルが残ってい
ます。

関係利用者の要望もあり
ますので、利用価値のある
道に早く出来るよう追加予
算を計上していただきたい
です。

西蔵谷部落

佐賀山林道
に通ずる
支線の開設
について

西蔵谷部落は、この林
道を最高度に活用し、地場
産業と部落発展を心がけて
いますが、これに通ずる支
線を開設していただければ
上の農道三十五と田畑、
山林等五百ヘクタール余り
が、受益することになり、
将来の発展は大きなもの
があると思われ、御高
配願いたす。

三津子野部落

索道架設に
対する

三津子野部落は三十七年
度、県道へ通ずる索道の
架設をしました。

しかし部落上の方ウツゲの
内地区は架設床までの約二
百メートルの区間を人力に
頼らねばならない状態であ
ったため、別に索道をつけ
ました。

これで、すべて物資が県
道へ直結することになり、
その恩恵は、まことに大き
いものがあります。

しかし資材や動力施設な
どに多額の経費を要しまし
たので、貧弱な部落では弱
っており、
実地調査の上、なにかん
の助成をしていただきた

役場職員
の
自重を望む

いま村政は重要なポスト
に人を得、熱誠練達な村長
のもとに善政がしられ、村
民は幸福ではあるが、もし
て全職員の心構えはどうだ
ろうか。自治体は定めた
当時の役場職員の方々は、
身を挺して村政の重責に任
じ、自身を滅して悔いず、
私利私欲をなげうって村政
に奉仕したものである。

職員組合を組織し、労働
協約を結び、全く職業化し
た現在それを望むやばは言
わないが、一般労働者(企
業会社など)とは異質の職
であることは間違いないの
である。

村政に賛賛する
必要を痛感

問題、その他、単なる議決
や一片の行政処理で、かた
づけ得られない問題をかか
えている。

既に農協合併にしても村
条項で制定し専門委員会
をつくり推進したにもかか
わらず、あけもろしな
れも自戒自重を望みたい。

農政問題
当局も村民も
総力結集のとき
農政問題は国家的大問題
であるから、村の大改革で
わらず、あけもろしな
れも自戒自重を望みたい。

激しい子供の
近視の増加

トラホームが、ほとんど
根絶されたといながら、
一方で増えているのが近視
です。

とくにさいきんの子ども
の近視の増加は、大へんな
ものです。

痛むとか、熱が出る病
とちがつて、あながい見
こされがちな目の保健に、
もう少し注意したいもので
ことです。

近視の増加

ふえてくる
学童の近視
文部省でまとめた学校保
健康報告書(昭和三十
七年度)によりますと、学童
の近視が、だんだん増えて
いるそうです。

つまり、小学生では十人
に一人、中学生では十人に
ておられがちな目の保健に、
二人、高校生では十人のう
ち三人は近視であるとい
うことです。

しかも女子に多いとい
傾向があらわれています。
また乱視の傾向をみても
同じことがいえます。

昭和三十七年には小学校
中学校では二十四年の約四
倍、高校では約十倍とい
う数字がみられます。

近視の原因はなにか
近視と乱視とは目の
ひずみか、どうしておこ
るのか、まだはっきりしてい
ないようです。

①照明の不備
②物の目に近づけてみる習
慣がある
③正しくない姿勢で本を読
むとか
④同じ姿勢を長くつけて
いる
⑤とかが、外的な原因とし
て考えられています。
このように、日本
人の生活様式に、もっとも
の生活様式に、もっとも

附

楽しい

稔りの秋

スプリング

わたしたちの作品

川口小学校

—次は立川小学校—



画 うんどうかい
四年 久保あけみ

文 ばんを
二年 とくひろてつろう

やすみじかんになったので、みんなわいわいといっ
てそとへでいきました。
ぼくは、とめおくと、
たかひでくんがばんを
いるのをみつけて
「とめおくん、そえてく
れ。」
という、とめおくんは
「三ばんをだすから、い
やせや。」
という、とめおくんは
「うん、しよう。」
といったので、ぼくはし
めたとおもいました。
ちよっとして、
「やめた、へげるけん」
とひろしくんがいますし
た。
ぼくは、もったいなく
たので、とめおくんのこ
ろへいくと、こんどはそ



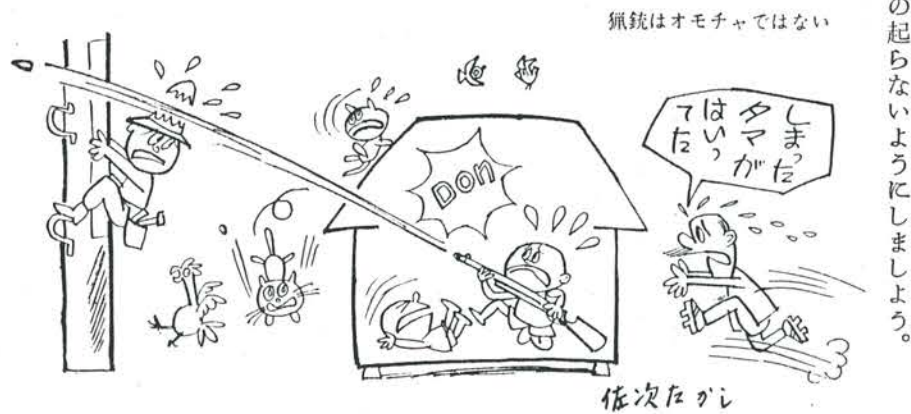
330才ソフトボール大会 (予 告)

12月6日(日)
於 大杉中学校
参加条件
村内に在住する者で、次の年齢区分によ
り編成しチームの合計年齢が330才以上
であること。
30才~39才 5名。 40才以上 4名

軟式野球大会

12月13日(日)
於 大杉中学校
参加条件
村内に在住する者
小、中学生は除く。
申込み
いずれも11月28日(土)までに大豊村中
央公民館へ申込んで下さい。

十一月は、大豊村政にと
って目まぐるしい月にな
ると思ひますが、本号で
は、それによれることが
できません。くわしいこ
とは次号でお知らせでき
ると思ひます。次号は十
一月末発行・平



「勤労感謝の日」です
「勤労をたつとび、生産を祝い
国民たがいに感謝しあう日」
祝祭日には日の丸を掲げましよう
十一月二十三日(月)は
「勤労感謝の日」です
「自由と平和を愛し、文化をすすめる
日」
十一月二十三日(火)は
国民の祝日
「文化の日」です
十一月二十三日(火)は
国民の祝日
「文化の日」です
十一月二十三日(火)は
国民の祝日
「文化の日」です



心配事相談所
相談日
毎週火曜日 大杉農協二階
「金曜日 西豊水支所
相談料は無料で、秘密は絶対に守
られます。
大豊村社会福祉協議会